

小京都森の国 *campus MIRAI* 設置概要



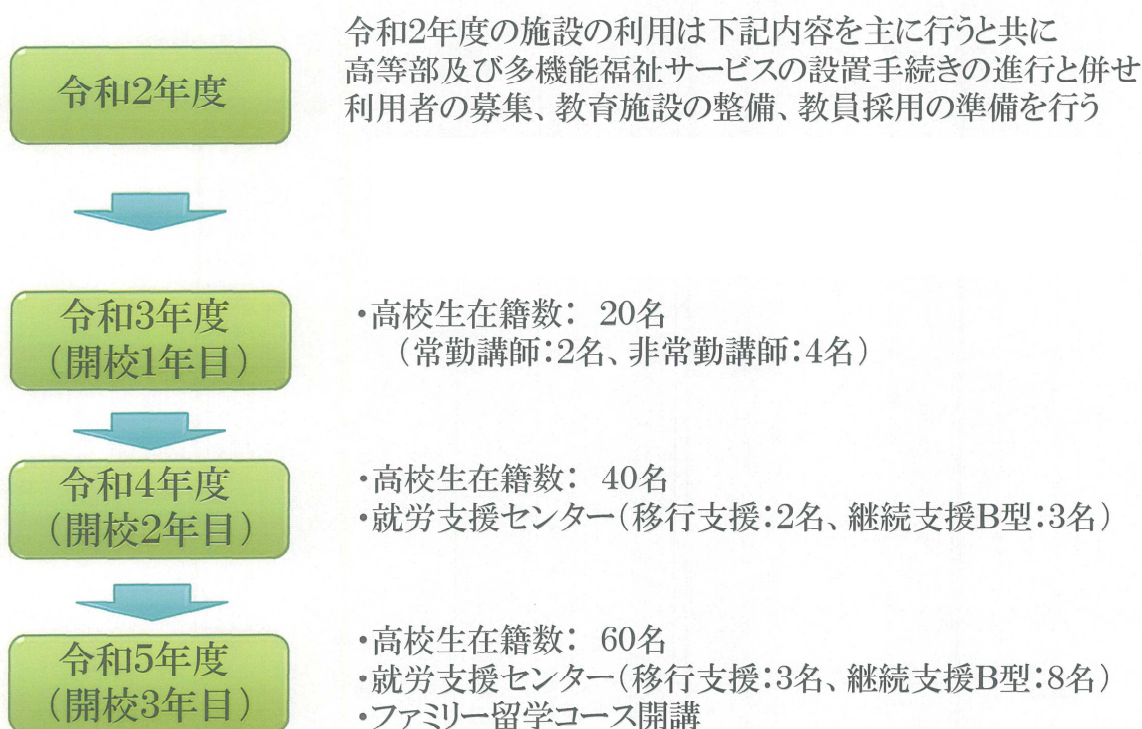
小京都森の国 *campus MIRAI*設置概要



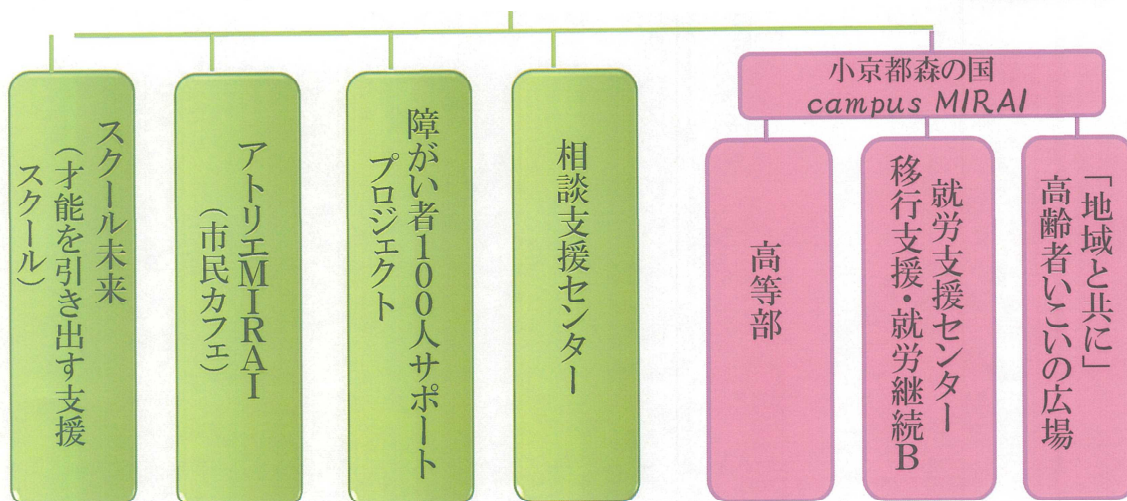
小京都森の国 *campus MIRAI*は、高等教育と多機能型福祉サービス（就労移行支援、就労継続支援B型）を併設した県内では初の支援体制をとる、教育・福祉型の施設です

- 1、名 称： 小京都森の国 *campus MIRAI*
- 2、所在地： 静岡県周智郡森町問詰259（旧森町立 泉陽中学校）
- 3、対 象： 不登校、ひきこもり、軽度発達障がい
- 4、開校年度： 令和3年4月

年度別実施内容



組織表



- ・スクール未来：ロボット、プログラミング
学習支援、リズムイングリッシュ各コース
- ・アトリエMIRAI：地域住民が憩い集う場
日替わりランチ 400円
- ・障がい者100人サポートプロジェクト
障がいのある方の就職相談
- ・相談支援センター：障がい者、不登校、ひきこもり等
- ・就労移行支援・就労継続支援B型：職業訓練、作業施設

- ・高等部：小京都森の国 campus MIRAI
人ひとりの個性を生かした創意あふれる教育の場
- ・就労支援センター：利用者一人ひとりが地域で文化的に暮らして行くための生活支援、就労支援を行う
- ・高齢者いこいの広場：地域と共に
ゲートボール大会、音楽の広場

高等部概要



1、高等部設置形態

学 科： 普通科
定 員： 150名
就業年限： 3年
学 期： 2学期制

2、学習スタイル、コンセプト

〔指導の柱〕

学習指導要領に示された、共通に指導すべき基礎的、基本的な学習内容を確実に定着させることを目指し、「生きる力の育成」に努めると共に、生徒たちの実績を踏まえ一人ひとりの個性を生かした創意工夫あふれる教育を充実させていく。

また、生徒の状況に応じた「個別指導」を柔軟かつ多様に導入し、生徒にとって「良く分かった」と思われる授業を通して、生徒の学習意欲を高める。

3、キャンパスの特徴

- ①希望の進路へ：職業訓練を重視し、地域の産業、観光に密着したカリキュラムを導入
- ②スモールステップ：個人個人に応じた小さな目標と、その達成を導くことにより少しずつ自信と意欲を持たせる
- ③保護者との連携：保護者との連携を重視し、保護者会においても教務報告のみで終わることなく、保護者と一緒に教育を考えるスタイルを取る
- ④人間教育：森町にある豊かな自然と歴史、文化の中で、人間教育を行い「人間力」を養う
- ⑤総合的授業：
 - プレゼン研究講座：森町の魅力を発見すると共に内容を発信するプロジェクト
 - ヤングドクタープラン発表会：日常において感じた疑問をテーマにし探究研究を行い発表する
 - 小京都森の国campus MIRAIイノベーションプロジェクト
〔グループで考える力を養う〕
テーマを決め、問題を解決しながらゴールにたどり着く

就労支援センター概要

利用者一人ひとりが地域で文化的に暮らして行くための生活支援、就労支援を行う

1、就労移行支援

[訓練科目]

- ・就労ゼミ：卒業後の進路選択の考え方、方法
職業訓練(ビジネスマナー、コミュニケーション能力向上
履歴書の書き方、面接の仕方他)
- ・職業能力講座：自己理解、職業理解、ライフプランを考える
- ・生産活動及び就労準備訓練：パソコン訓練、ロボット・プログラミング
英会話訓練、接客訓練、作業訓練、販売訓練

2、就労継続支援B型

[作業内容]

企業からの内職、パソコン作業(プログラミング、アンケート集計、代行入力)
野菜の袋詰め、施設管理(清掃、草取り)、茶袋の折り畳み

[行 事]

季節ごとのお楽しみ会、誕生会、カレー大会、遠足他

3、就労支援センター利用者募集計画

令和4年度	5名(移行支援:2名	継続支援B型:3名)
令和5年度	11名(移行支援:3名	継続支援B型:8名)
令和6年度	17名(移行支援:5名	継続支援B型:12名)

《生徒の確保計画》

- ①学校説明会：静岡県主催(年2回)、市町教育委員会主催(年10回)
- ②訪問：各中学校(特別支援級)、特別支援学校(袋井、掛川)
- ③ホームページの作成
- ④パンフレットの作成
- ⑤メディア向け紹介文書(新聞への掲載：静岡、中日、読売、朝日)
- ⑥森町広報紙への紹介

高齢者健康増進に寄与するための用途（高齢者いこいの広場）

〔 高齢者が健康を維持したり、新たなコミュニケーションの中で
生き甲斐を発見できるような機会を創出 〕

軽スポーツ、音楽、お話し等に教室、体育館、グラウンドを提供

《 効 果 》

1、社会的効果

- ①不登校、ひきこもり、軽度発達障がい者への活動の場の提供
- ②スクーリングにおいて各地から生徒が森町に来ることによる地域の活性化の促進
- ③様々な体験学習の指導に携わる地域住民との交流
- ④森町への転入を検討する一要因として作用

2、経済的効果

- ①スクーリングで森町を訪問する生徒や関係者の消費需要（交通費、飲食代
宿泊費等）
- ②教職員、事務員の雇用
- ③税収入が見込まれる（学校設立に伴う固定資産税、雇用・転入をされた
方々の個人市民税など）

《ファミリー留学コース概要》

全国の不登校や発達障がいなどの問題を抱えた生徒、児童と共に保護者の方も一緒に自然豊かな森町に移住していただき

小京都森の国*campus MIRAI* と森町、保護者、三位一体となり、子ども達の未来のための支援教育を行う。

定住推進課移住交流係との打合せ